

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成 25 年 5 月 31 日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
1	教育大前駅バリアフ リー推進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター2基、 手すり、盲導鈴、 誘導警告ブロック、 障害者対応型トイレ	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図られたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
2	天神大牟田線朝倉街 道駅バリアフリー化設 備等整備協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	西日本鉄道株	EV2基・跨線橋新設,身障 者対応型便所,スロープ,2段 手すり,待合室扉,券売機カ ウンタ-蹴込み,点字ブロック他 改修	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 バリアフリー設備の整備につい てHP等で広く告知するなど、利 用者への情報提供を継続して 実施する。	バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域に おける重点的・一体的なバリアフリーの推 進に努めていただくことが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
3	貝塚線三苦駅バリアフ リー化設備等整備協議 会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	西日本鉄道株	EV3基・跨線橋、連絡通路、 障害者対応型便所、ホーム 縁端内方線付警告ブロック、 コンコース誘導・警告ブロック、サ ン工事他	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図りたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
4	肥前鹿島駅バリアフ リー推進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター1基、 手すり、盲導鈴、 誘導警告ブロック、 旅客通路	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 バリアフリー設備の整備につい てHP等で広く告知するなど、利 用者への情報提供を継続して 実施する。	バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域に おける重点的・一体的なバリアフリーの推 進に努めていただくことが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
5	喜々津駅バリアフリー 推進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター2基、スロー プ、障害者対応型トイレ、 誘導警告ブロック、手摺、 盲導鈴	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図りたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
6	長与駅バリアフリー推 進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター2基、多目的 トイレ、誘導警告ブロック、 手摺、盲導鈴	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図られたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
7	ハウステンボス駅バリアフリー推進協議会	地域公共交通バリア解消促進等事業 (バリアフリー化設備等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター1基、手すり、盲導鈴、誘導警告ブロック、多目的トイレ、旅客通路他	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で完了 バリアフリー設備の整備についてHP等で広く告知するなど、利用者への情報提供を継続して実施する。	バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域における重点的・一体的なバリアフリーの推進に努めていただくことが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
8	日田駅バリアフリー推 進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター2基、 手すり、盲導鈴、 誘導警告ブロック	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 バリアフリー設備の整備につい てHP等で広く告知するなど、利 用者への情報提供を継続して 実施する。	バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域に おける重点的・一体的なバリアフリーの推 進に努めていただくことが望ましい。	



番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
9	南宮崎駅バリアフリー 推進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター3基、 手すり、盲導鈴、障害者対 応型トイレ、誘導警告ブ ロック、2ホーム拡幅	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図られたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
10	都城駅バリアフリー推 進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター3基、EV専用 こ線橋、障害者対応型トイ レ、誘導警告ブロック、手 摺、盲導鈴	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図られたい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
11	串木野駅バリアフリー 推進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	九州旅客鉄道(株)	エレベーター1基、障害者 対応型トイレ、誘導警告ブ ロック、手摺、盲導鈴	B	B	引き続き工事を実施し、早期の バリアフリー設備の整備を進め る。	早期の事業完了を図られたい。	

### 事業内容

#### ■事業概要

交通事業者が行うノンステップバスの導入事業、及びバスターミナル事業を営む者が行うバリアフリー対応乗車券券売機の導入事業に要する経費の一部を補助することにより、バス車両のバリアフリー化やバスターミナルの移動円滑化の促進を図る。

#### 【事業エリア】

ノンステップバスについて、福岡市内を走る路線を対象とし、主に都心部循環バスや、都心部と福祉施設や公共施設を結ぶ路線に導入を行う。バリアフリー対応乗車券券売機については、福岡市内のバスターミナル施設に導入を図る。

#### 【導入台数】

- ・第1次事業 ノンステップバス導入台数: 2台  
バリアフリー対応乗車券券売機: 1台
- ・第2次事業 ノンステップバス導入台数: 10台

### 基礎データ

#### 【協議会構成員】

西日本鉄道(株), (株)福岡交通センター, 九州運輸局福岡運輸支局, 福岡市

#### 【協議会開催回数】

平成24年度 協議会2回

#### 【事業費用・構成員の負担額】

事業	対象	総事業費	国費	福岡市	事業者
第1次事業	ノンステップバス: 2台	59,430	3,800	3,800	51,830
	バリアフリー対応乗車券券売機: 1台	3,200	1,066	0	2,134
第2次事業	ノンステップバス: 10台	204,519	10,259	0	194,260

※単位: 千円

### 事業実施前の状況(Before)

#### 【目的・背景】

福岡市内を主に走るノンステップバスは平成23年度末時点で21台である。福岡市でも、車いす使用者のみならず、高齢者、ベビーカー利用者等様々な人々に利用し易いノンステップバスの導入は重要である。国の「移動円滑化の促進に関する基本方針」において、平成32年度までに導入比率約70%との目標が定められていることから、本市においてもバリアフリー基本推進に関する基本方針を示す「福岡市バリアフリー基本計画」を平成25年4月に策定し、積極的にノンステップバスの導入促進を図るものである。

#### 【実施前の状況】

平成24年3月に実施した、障がい者関係団体、高齢者関係団体へのヒアリング調査において、複数の団体からノンステップバスの増車を望む声があった。また、ターミナル施設利用者からも券売機のバリアフリー対応機種導入を望む声が多数あった。

### 事業実施後の状況(After)

#### 【目標・効果の達成状況】

- ・ノンステップバス : 目標12台 → 12台
- ・バリアフリー対応乗車券券売機: 目標1台 → 1台

福岡市内ノンステップバス導入状況について

事業者数	車両数	ノンステップバス車両数
3社	1367台 (確認中)	34台(平成25年3月現在)



バリアフリー対応乗車券券売機



ノンステップバス



乗車口



社内の様子

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
1	福岡市バリアフリー化設備等整備事業協議会	地域公共交通バリア解消促進等事業 (バリアフリー化設備等整備事業)	西日本鉄道(株)	ノンステップバス車両12台の購入	A	A	平成24年3月に実施した、障がい者関係団体、高齢者関係団体へのヒアリング調査において、複数の団体からノンステップバスの増車を望む声があった。今後も利用者の意見を反映させながら取り組みを進める。	今後、利用状況や施設の満足度等についてモニタリングを行っていただくことが望ましい。また、バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域における重点的・一体的なバリアフリーの推進に努めていただくことが望ましい。	
2	福岡市バリアフリー化設備等整備事業協議会	地域公共交通バリア解消促進等事業 (利用環境改善促進等事業)	(株)福岡交通センター	バリアフリー対応乗車券券売機1台の購入	A	A	ターミナル施設利用者からも券売機のバリアフリー対応機種導入を望む声が多数あり、今後も利用者の意見を反映させながら取り組みを進める。	今後、利用状況や施設の満足度等についてモニタリングを行っていただくことが望ましい。また、バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域における重点的・一体的なバリアフリーの推進に努めていただくことが望ましい。	

## 事業内容

過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や自転車への利用転換を目指して、今後の都市交通のあり方や短中期の交通施策を盛り込んだ「北九州市環境首都総合交通戦略」を策定した。

さらに、市民、企業、学識者、交通事業者、行政で組織する「北九州市環境首都総合交通戦略推進連絡会」を発足させるとともに、具体的な事業や進捗管理の方法を盛り込んだ実施計画を策定し、計画的な事業の推進を図っている。

この計画の中で、バリアフリー化の推進を施策の1つに掲げ、バスのバリアフリー化として、低床バスの導入推進を図っている。

## 基礎データ

### ■北九州市基礎データ

人口：972,713人（平成24年3月現在）

高齢化率：25.5%（平成24年3月現在）

### ■北九州市環境首都総合交通戦略推進連絡会基礎データ

・市民代表(2名)、企業代表(1名)、学識者(1名)、

交通事業者(9名)、行政(4名)の計17名で構成

・連絡会開催数:連絡会5回（下部組織の幹事会6回）

### ■西鉄バス北九州株式会社の基礎データ

総車両数553台うち低床車両14台(2.5%)

(平成25年3月現在)

## 事業実施前の状況(Before)

「北九州市環境首都総合交通戦略」では、

(1) 利用しやすく安全で快適な交通体系の構築

(2) 地球にやさしい交通手段の利用促進

(3) 超高齢社会における『市民の足』の確保

の3つを基本方針として28施策を掲げ、このなかで、行政と交通事業者が協力し、低床バス導入等「バリアフリー化の推進」に努め、子供から高齢者まで様々な人が公共交通を利用しやすい環境の整備を進めることとしている。

## 事業実施後の状況(After)

交通事業者の積極的なバリアフリー対策としての低床車両導入計画に伴い、当初年次計画以上の導入が見込まれる。



年度	導入実績及び計画	導入(補助対象)事業者
平成21年度	3台	西鉄バス北九州(株)
平成22年度	2台	〃
平成23年度	1台	〃
平成24年度	5台	〃
平成25年度	10台(予定)	〃

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
3	北九州市環境首都総合交通戦略推進連絡会	地域公共交通バリア解消促進等事業 (バリアフリー化設備等整備事業)	西鉄バス北九州㈱	ノンステップバスの導入(5台)	A	A	事業者と調整しながら、さらなるノンステップバスの導入を促進し、公共交通を利用しやすい環境の整備を進める。	今後、利用状況や施設の満足度等についてモニタリングを行っていただくことが望ましい。また、バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域における重点的・一体的なバリアフリーの推進に努めていただくことが望ましい。	

# 福岡県タクシー関係バリア解消促進協議会(福岡県)

事業名:平成24年度福岡県福祉タクシー導入整備計画

## 事業内容

福岡県内のタクシー事業者が保有する福祉車両は292台と決して多くなく、急速に進む高齢化社会において、今後、福祉車両による高齢者・障害者の輸送は非常に重要となってくる。国においても「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」で、福祉タクシー車両の導入目標を平成33年までに、28,000台と示している。福岡県においても積極的に福祉車両の導入促進を図る必要があり、毎年10台以上の導入により、平成33年度までに400台の車両保有を目標とする。

## 基礎データ

### 協議会構成員

関係都道府県・・・福岡県

交通事業者・・・九州交通(株)、北交大和タクシー(株)、MGタクシー(株)、川島交通自動車(株)

地方運輸局・・・九州運輸局福岡運輸支局

その他・・・(社)福岡県タクシー協会、(一社)福岡市タクシー協会、(一社)北九州タクシー協会、筑豊地区タクシー協会、筑後地区タクシー協会

事業者数	車両数	福祉車両数
513	10,564	405

## 事業実施前の状況(Before)

福祉車両の導入を促進することにより、今後の高齢化社会にける、高齢者、障害者の移動の円滑化が図られるとともに、福祉車両利用者の増加に寄与する。

## 事業実施後の状況(After)

平成24年度当初導入目標は10台としていたが、県内各地の事業者からの導入希望が多く、目標台数を大きく上回る33台の導入となり、年度導入目標値を230%上回った。

翌年度以降の導入にあたっては、メーカーによるUDタクシーのLPG仕様車の開発、販売が見込まれる、との情報を得ており、導入希望事業者の期待が高まっているところである。



年度	福祉車両導入実績及び導入計画	計画への達成率
H24	導入計画 39台	84.6%
H25	導入計画 10台	- %
H26	導入計画 10台	- %



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)		
1	福岡県タクシー関係バ リア解消促進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	西日本自動車(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、バ リアフリー新法の趣旨を踏まえ、 地域における重点的・一体的なバ リアフリーの推進に努めていただ くことが望ましい。	
			(有)福運タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(株)古賀タクシー	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			日本カーソリューションズ(株) (協和タクシー(株)リース車)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			シティックスカード(株) (飯倉タクシー(株)リース車)	福祉タクシー車両3両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			ほほえみ浅川(株)	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			北交大和タクシー(株)	福祉タクシー車両3両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(株)日産フィナンシャルサービス (有)三ヶ森タクシー リース車)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			北九州第一交通(株)	福祉タクシー車両1両購入	C	C	新規需要の開拓、需要の動 向等を見ながら、翌年度以 降、福祉車両の導入につい ては、検討していきたい。		
			若松第一交通(株)	福祉タクシー車両1両購入	C	C	新規需要の開拓、需要の動 向等を見ながら、翌年度以 降、福祉車両の導入につい ては、検討していきたい。		
			八幡第一交通(有)	福祉タクシー車両1両購入	C	C	新規需要の開拓、需要の動 向等を見ながら、翌年度以 降、福祉車両の導入につい ては、検討していきたい。		
			(株)若松タクシー	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			川島交通自動車(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			久留米タクシー(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)	評価結果	
2	福岡県タクシー関係バ リア解消促進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	浮羽交通(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、バ リアフリー新法の趣旨を踏まえ、 地域における重点的・一体的なバ リアフリーの推進に努めていただ くことが望ましい。	
			(有)ふくしさーびす	福祉タクシー車両1両購入	C	C	新規需要の開拓、需要の動 向等を見ながら、翌年度以 降、福祉車両の導入につい ては、検討していきたい。		
			MGタクシー(株)	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(有)扇電器	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			里ごころ(有)	福祉タクシー車両1両購入	C	C	新規需要の開拓、需要の動 向等を見ながら、翌年度以 降、福祉車両の導入につい ては、検討していきたい。		
			(有)西日本在宅介護センター	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			瀬高交通自動車(有)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			有明交通(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			総合交通(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			帆柱タクシー(株)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			社会福祉法人 猪位金福祉会	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(有)ほぼえみ	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(有)ワーカーズコープ タクシー福岡	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(有)若津タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
柳川観光タクシー(有)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了					

# 佐賀県タクシー関係バリア解消促進協議会(佐賀県)

事業名: 24年度地域公共交通バリア解消促進

## 事業内容

佐賀県内のタクシー事業者が保有する福祉車両は、52両とけっして多くなく、急速に進む高齢化社会において、今後、ドア・ツー・ドアによる福祉車両による高齢者や車いす利用者等の移動困難者の輸送は非常に重要となってくる。国の福祉車両の導入目標が平成33年までに28,000台と示していることから、佐賀県においても、積極的に福祉車両の導入促進を図るものである。

## 基礎データ

### 協議会構成員

- 関係自治体: 佐賀県交通政策部新幹線・地域交通課
- 交通事業者・交通施設管理者等: 株式会社佐賀タクシー  
(社団法人佐賀県バス・タクシー協会ケア輸送委員会)
- 九州運輸局佐賀運輸支局
- その他協議会が必要と認める者: 社団法人佐賀県バス・タクシー協会

県内タクシー車両(福祉車両)の導入状況(平成23年3月31日現在)

寝台専用	車いす専用	兼用	回転シート等	計
2	37	12	1	52

出典: 九州運輸局HP

## 事業実施前の状況(Before)

急速に進む高齢化社会の進展に伴い、高齢者や障害者等の移動困難者が安心して公共交通を利用しやすい環境を整備し、移動の円滑化を図る必要がある。福祉車両の導入を促進することにより、これらの方の社会参加を促進し、利便性向上を図ることが可能となる。また、福祉車両の利用者の増加により、タクシー事業の活性化にも寄与する。

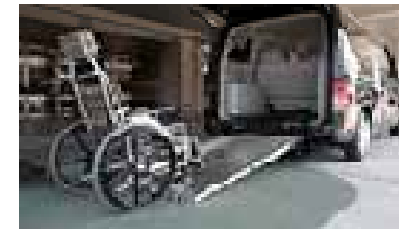
## 事業実施後の状況(After)

### 福祉車両の導入計画

毎年2台以上の増加を図り、平成32年度までに70台以上とする。

年度	福祉車両導入実績及び導入計画	計画達成率
H24	14台 (2台)	700%
H25	— (2台)	—
H26	— (2台)	—

導入車両と同一車種の写真



### 導入実績の明細

(株)佐賀タクシー1台(UDタクシー)、中央タクシー(株)3台(車いす専用)、(有)久保田タクシー1台(車いす専用)、佐銀リース(株){(株)鳥栖構内タクシー}2台(UDタクシー)、シティックスカード(株){吉野ヶ里観光タクシー(有)、(有)鳥栖タクシー}2台(UDタクシー)、(株)トヨタレンタリース佐賀{昭和自動車(株)}1台(車いす専用)、(株)玄海タクシー1台(車いす専用)、西肥亀の井タクシー(株)2台(UDタクシー)、(株)武雄タクシー1台(UDタクシー)

UDタクシーとは…健康者に限らず、高齢者、妊産婦、子供連れ、車いすの方(車いすのまま乗車することを想定)など、誰でも利用できる構造(ユニバーサルデザイン)のタクシー車両であって、流し営業などの通常のタクシー営業に用いるもの。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)	評価結果	
3	佐賀県タクシー関係バ リア解消促進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	(株)佐賀タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、 バリアフリー新法の趣旨を踏ま え、地域における重点的・一体的 なバリアフリーの推進に努めてい いただくことが望ましい。	
			西肥亀の井タクシー(株)	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(有)久保田タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(株)玄海タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(株)武雄タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			中央タクシー(株)	福祉タクシー車両3両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			(株)トヨタレンタリース佐賀	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			佐銀リース(株)	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			シティックスカード(株)	福祉タクシー車両2両購入	A	A	平成24年度事業完了		

## 事業内容

### <目的・必要性>

諫早市地域内のタクシー事業者が保有する福祉車両は6台と少なく、急速に進む高齢化社会において、今後、福祉車両による高齢者・障がい者の輸送は非常に重要となってくることから積極的な福祉車両の導入が必要となる。

### <目標>

諫早市地域内において、毎年1台以上の増加を目標とし、現在の6台を平成25年までに7台以上とする。

## 基礎データ

### 協議会メンバーの構成員

関係都道府県： 長崎県地域振興部新幹線・総合交通対策課

交通事業者・交通

施設管理者等： 長崎県タクシー協会、諫早市タクシー協会、諫早労働基準監督署  
長崎県警察本部、諫早警察署

地方運輸局： 九州運輸局長崎運輸支局

その他協議会が必要と認める者： 諫早商工会議所、諫早老人クラブ連合会、いさはや国際交流センター  
全自交長崎地方連合会諫早タクシー労働組合、エキマエタクシー労働組合、ニュータウンタクシー従業員会

事業者数	タクシー車両数	福祉車両数
8	175	7

## 事業実施前の状況

福祉車両の導入を促進することにより、今後の高齢化社会における、高齢者、障がい者の移動の円滑化が図られるとともに、福祉車両利用者の増加に寄与する。

## 事業実施後の状況

目標1台以上／年間に対して、1台／年間を達成した。

平成25年3月末現在で、導入した車両による輸送回数は37回で輸送人員は78人の方に御利用いただき徐々にではあるが浸透して行っている状況である。

しかしながら地域内の車両数の0.04%の普及率であり、今後の普及拡大が喫緊の課題である。



導入計画 毎年1台以上を目標とする。

年 度	福祉車両導入実績 及び導入計画	計画への達成率
H23	0台	0%
H24	3台	300%

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)	評価結果	
4	諫早市地域タクシー適 正化・活性化協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	湯江タクシー(有)	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、バ リアフリー新法の趣旨を踏まえ、 地域における重点的・一体的なバ リアフリーの推進に努めていただ くことが望ましい。	

## 事業内容

### <目的・必要性>

大分県内のタクシー事業者が保有する福祉車両は73台と決して多くなく、急速に進む高齢化社会において、今後、福祉車両による高齢者・障がい者の輸送は非常に重要となってくることが考えられる。国でも福祉車両の導入目標を平成33年までに、28,000台と示している。大分県においても積極的な福祉車両の導入が必要となる。

### <目標>

大分県内において、毎年3台以上の増加を目標とし、大分県内において現在の73台を平成33年までに100台以上とする。

## 基礎データ

### 協議会メンバーの構成員

関係都道府県: 大分県企画振興部交通政策課

交通事業者・交通

施設管理者等: 大分シティタクシー株式会社、滝尾タクシー株式会社、株式会社OCS  
みなとタクシー株式会社、津久見タクシー株式会社、  
イサゴタクシー株式会社、南大分シティタクシー株式会社、  
クリスタルシティタクシー株式会社、佐伯タクシー株式会社  
富士タクシー株式会社

地方運輸局: 九州運輸局大分運輸支局

その他協議会が

必要と認める者: 社団法人大分県タクシー協会協議会構成員

事業者数	タクシー車両数	福祉車両数
10	435	32

## 事業実施前の状況(Before)

福祉車両の導入を促進することにより、今後の高齢化社会における。高齢者、障がい者の移動の円滑化が図られるとともに、福祉車両利用者の増加に寄与する。

## 事業実施後の状況(After)

目標3台以上／年間に対して、8台／年間を達成した。2年間で19台と目標を大きく上回る結果となっている。

平成25年度1月末現在で、導入した車両による輸送回数は33,050回で輸送人員は52,970人と多くの方々に御利用いただき徐々にではあるが浸透して行っている状況である。

しかしながら車両のほとんどが大分市に集中しており県内全域での普及が今後の課題である。また、現在の車両の燃料はガソリンで円安等により価格の高騰が経営に大きく響いている。平成25年度にはメーカーの努力によりLPG車両の販売が行われるとのことで期待している。



導入計画 毎年3台以上を目標とする。

年 度	福祉車両導入実績 及び導入計画	計画への達成率
H23	11台	366%
H24	8台	266%

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)	評価結果	
5	大分県タクシー関係バ リア解消促進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	南大分シティタクシー(株)	福祉タクシー車両3台購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、バ リアフリー新法の趣旨を踏まえ、 地域における重点的・一体的なバ リアフリーの推進に努めていただ くことが望ましい。	
			クリスタルシティタクシー(株)	福祉タクシー車両3台購入	A	A	平成24年度事業完了		
			佐伯タクシー(株)	福祉タクシー車両1台購入	A	A	平成24年度事業完了		
			富士タクシー(株)	福祉タクシー車両1台購入	A	A	平成24年度事業完了		



# 鹿児島県タクシー関係バリア解消促進協議会（鹿児島県）

## 事業内容

### <目的・必要性>

鹿児島県内のタクシー事業者が保有する福祉車両は、143両と決して多くなく、急速に進む高齢化社会において、今後、福祉車両による高齢化・障害者の輸送は非常に重要となってくる、国の福祉車両の導入目標が平成33年までに、28,000両と示していることから、鹿児島県においても、積極的に福祉車両の導入促進を図るものである。

### <目標>

鹿児島県内において、毎年5両以上の増加を目標とし、現在の143両を平成33年までに180両以上とする。

## 基礎データ

### 協議会メンバーの構成員

- ・関係都道府県：鹿児島県企画部交通政策課
- ・交通事業者・交通施設管理者等：鹿児島第一交通株式会社、旭交通株式会社、指宿観光交通株式会社
- ・地方運輸局：九州運輸局鹿児島運輸支局
- ・その他協議会が必要と認める者：社団法人鹿児島県タクシー協会

事業者数	車両数	福祉車両数
3	466	30

## 事業実施前の状況(Before)

福祉車両の導入を促進することにより、今後の高齢化社会にける、高齢者、障害者の移動の円滑化が図られるとともに、福祉車両利用者の増加に寄与する。

## 事業実施後の状況(After)

目標5両／年間に対して、9両／年間を達成した。2年間で22両と、目標を大きく上回る結果となっている。

また、導入した車両の配置について、鹿児島市内のみならず、県内の主要都市にも配置されている状況である。

今後は、導入した車両の輸送回数及び輸送人員数を把握し、本事業の効果検証を進めていき、利用者がより利用しやすい環境整備に資するよう取り組むこととしたい。



導入計画 毎年5両以上を目標とする。

年度	福祉車両導入実績及び導入計画	計画への達成率
H23	13台	260%
H24	9台	180%

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善 点 (調査事業においては計画 策定に向けた方針)	評価結果	
6	鹿児島県タクシー関係 バリア解消促進協議会	地域公共交通バリア 解消促進等事業 (バリアフリー化設備 等整備事業)	鹿児島第一交通株式会社	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了	今後、利用状況や施設の満足度 等についてモニタリングを行って いただくことが望ましい。また、バ リアフリー新法の趣旨を踏まえ、 地域における重点的・一体的なバ リアフリーの推進に努めていただ くことが望ましい。	
			株式会社日の丸交通	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			株式会社坂元運送	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			株式会社ハニ	福祉タクシー車両3両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			株式会社錦江石油	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			旭交通株式会社	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		
			合資会社阿久根タクシー	福祉タクシー車両1両購入	A	A	平成24年度事業完了		

### 事業目的および内容

鹿児島市では、平成22年3月に策定した「鹿児島市公共交通ビジョン」において、基本方針の一つに「安全・快適で、人と環境にやさしい交通環境の整備」を掲げ、その推進施策としてノンステップバス等の導入により「車両等のバリアフリー化」を推進するほか、バス停への上屋やベンチの設置等により「待合施設の改善」を図り、快適な交通環境の整備を進めることとしている。

「車両等のバリアフリー化」については、平成23年度に、これまで鹿児島中央駅や天文館を中心とする中央地区を重点整備地区としてきた鹿児島市交通バリアフリー基本構想を改訂し、鴨池地区と谷山地区を新たに重点整備地区に加えた「鹿児島市新交通バリアフリー基本構想」を策定し、引き続き歩道の段差解消や音響式信号機の設置、路面電車や乗合バスといった公共交通のノンステップ化を進める。

「待合施設の改善」については、歩道や車両のバリアフリー化に併せて、中心市街地のバス停留所に上屋や風防パネル、ベンチを設置し、停留所の環境改善を進めることで、高齢者や車イス利用者などをはじめとするだれもが安全・快適に移動できる交通環境の実現を図る。

### 基礎データ

※協議会委員構成: 九州運輸局鹿児島運輸支局・鹿児島県・鹿児島市・鹿児島市交通局・鹿児島県バス協会

#### ■鹿児島市交通局のバス車両の保有状況

[平成25年4月1日現在]

- 乗合バス車両(定期観光を除く)の総車両台数: 196台
  - ノンステップバス: 82台
  - ワンステップバス: 7台
  - リフト付きバス: 0台



ノンステップバス

#### ■鹿児島県バス協会所有の鹿児島市内のバス停上屋等

[平成25年3月31日現在]

- バス停上屋: 90棟
- ベンチ: 3基

#### ■鹿児島市交通局所有のバス停上屋等

[平成25年3月31日現在]

- バス停上屋: 152棟
- ベンチ: 49基

### 事業実施前の状況(Before)

・鹿児島市交通局の乗合バスは、生活関連施設の多い都心部に路線が多く、1日あたり31,000人以上の利用があるが、ノンステップバスの保有状況は平成23年度末で71台であり、一般路線の全車両197台の36.0%に当たることから、国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」を踏まえノンステップバスの導入を更に進める必要がある。

・鹿児島県バス協会が設置するバス停上屋は、複数の交通事業者が運行するバス停を中心に昭和52年からバス停上屋整備を実施しているが、中心市街地の主要なバス停は更新時期にあることや、利用者から降灰や風雨に対応したバス停上屋設置の要望があることから、国や鹿児島市の補助を受けて待合施設の改善を進める必要がある。[対象: 中心市街地の主要なバス停10棟]

### 事業実施後の状況(After)

中心市街地の主要な交通結節点の1つである高見馬場バス停にバス停上屋や風防パネル、ベンチを整備したことにより、本市の主要な交通結節点におけるバリアフリー化が進み、移動等の円滑化が図られた。(右写真参照)



高見馬場バス停

ノンステップバスを11台導入\*したことにより車両のバリアフリー化が進み、市内各所から生活関連施設までの移動等の円滑化が図られた。

※ノンステップバス導入については、当初地域公共交通確保維持改善事業の活用を予定していたが、国と協議し、より有利な社会資本整備総合交付金を活用。

[平成24年度末のノンステップバス台数の割合: 41.8%(82台/196台)]※定期観光を除く乗合バスにおける割合

### 今後の取組

引き続きノンステップバスの導入及びバス停上屋等の整備により車両のバリアフリー化や停留所等の環境改善を進める。

(平成27年度末時点)

・ノンステップバス: 117台、59%予定  
 [事業費: 22,313千円(25年度)  
 266,938千円(27年度)]

・バス停上屋等: 4棟、40%予定  
 [事業費: 3,771千円(25年度)  
 3,771千円(26年度)  
 3,771千円(27年度)]

#### ノンステップバス導入

年度	25年度	26年度	27年度	計
小型	1台	0台	0台	1台
大型	0台	0台	10台	10台
計	1台	0台	10台	11台

#### バス停上屋・風防パネル・ベンチ設置

年度	25年度	26年度	27年度	計
上屋	1棟	1棟	1棟	3棟
ベンチ	1基	1基	1基	3基

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局における二次評価結果	備考
					事業実施の適切性	目標・効果達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に向けた方針)	評価結果	
1	鹿児島市公共交通バリア解消促進協議会	地域公共交通バリア解消促進等事業 (利用環境改善促進等事業)	公益社団法人 鹿児島県バス協会	中心市街地の主要なバス停において、上屋や風防パネルなどを備えたバス停の整備を進める。	A	A	交通事業者が複数あり、運行経路や時刻表の表示が統一されていないことから、ハード整備(上屋整備)と合わせてソフト対策を実施することが課題である。	今後、利用状況や施設の満足度等についてモニタリングを行っていただくことが望ましい。また、バリアフリー新法の趣旨を踏まえ、地域における重点的・一体的なバリアフリーの推進に努めていただくことが望ましい。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成 25 年 5 月 31 日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
1	筑豊電気鉄道沿線地 域活性化協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	筑豊電気鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転士異常時列車停止装置</li> <li>・運転状況記録装置</li> <li>・レール(重軌条化)</li> <li>・マクラギ(PCマクラギ化)</li> <li>・自動列車停止装置(AT S)</li> <li>・車両保存費(重要部検査)</li> <li>・踏切保安設備</li> </ul>	A	A	<p>本事業は当該年度(H24年度)で完了 今後の更なる安全性の向上の 為、継続して施設等の整備が 必要とされる。</p>	<p>今後も引き続き輸送の安全性を確保していくことが必要である。このため、鉄道事業者の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般について、安全性の向上を図るべき事項に関し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組みを継続していくことが望ましい。</p>	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
2	筑豊・京築地域公共交 通活性化協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	平成筑豊鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号器具箱更新</li> <li>・踏切バックアップ検知装 置更新</li> <li>・雨量計取替</li> <li>・マクラギ交換</li> <li>・橋りょう桁ペイント塗装</li> <li>・高圧トランス取替</li> <li>・車両重要部検査</li> <li>・踏切警報機取替</li> <li>・踏切制御子取替</li> <li>・レール交換</li> </ul>	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了	今後も引き続き輸送の安全性を確保してい くことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
3	甘木鉄道安全輸送設備等整備促進協議会	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業	甘木鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転状況記録装置取付</li> <li>・レール交換</li> <li>・踏切動作反応灯取替 (閃光灯のLED化)</li> <li>・踏切遮断機取替</li> <li>・車両の全般検査</li> <li>・車輪取替</li> </ul>	A	A	<p>本事業は当該年度(H24年度)で完了 今後も引き続き車両、軌道、踏切保安設備等を整備していく必要があります。</p>	<p>今後も引き続き輸送の安全性を確保していくことが必要である。このため、鉄道事業者の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般について、安全性の向上を図るべき事項に関し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組みを継続していくことが望ましい。</p>	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
4	長崎電気軌道安全輸 送設備等整備推進協 議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	長崎電気軌道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レールの重軌条化</li> <li>・レールの同種更新</li> <li>・分岐器更新</li> <li>・連動装置</li> <li>・変成機器</li> <li>・遮断装置</li> </ul>	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了	今後も引き続き輸送の安全性を確保してい くことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	



## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
5	島原鉄道安全輸送設 備等協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	島原鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連動装置の改良</li> <li>・踏切遮断機更新</li> <li>・レール同種更新</li> <li>・木枕木同種更新</li> <li>・分岐器重軌条化</li> <li>・橋梁(橋桁塗装)</li> <li>・施設調査事業</li> <li>・車両(全般・重要部検査)</li> </ul>	A	A	<p>本事業は当該年度(H24年度)で完了 今後も計画に基づき実施していく。</p>	<p>今後も引き続き輸送の安全性を確保していくことが必要である。このため、鉄道事業者の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般について、安全性の向上を図るべき事項に関し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組みを継続していくことが望ましい。</p>	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成 25 年 5 月 31 日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
6	松浦鉄道安全輸送設 備対策協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	松浦鉄道(株)	整備内容：レールや分岐 器の重軌条化をはじめと する、マクラギ交換、車両 の全般・重要部検査等	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 今後は地上設備の維持管理に 万全を期して行きたい。	今後も引き続き輸送の安全性を確保してい くことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
7	熊本電鉄安全輸送設 備等整備協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	熊本電気鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏切遮断機1台更新</li> <li>木製マクラギをPCマクラ ギに更新</li> <li>軌道道床の整備</li> <li>車両の重要部検査(1編 成)・全般検査(1編成)の 実施</li> </ul>	A	A	<p>本事業は当該年度(H24年度)で完了 今後も引き続き安全性の向上のため、施設の整備が必要であることから長期計画を作成し、計画的な施設の整備について、協議会で合意形成を図りながら実施していきたい。</p>	<p>今後も引き続き輸送の安全性を確保していくことが必要である。このため、鉄道事業者の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般について、安全性の向上を図るべき事項に関し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組みを継続していくことが望ましい。</p>	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
8	南阿蘇鉄道安全改善 及び活性化協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	南阿蘇鉄道株	・マクラギ交換(PCまくら木 化)・・・PCマクラ木157本 交換 ・車輪台車整備、車輪交 換・・・台車の分解検査整 備、車輪を全軸(8枚)取替	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 今後も引き続き車両、軌道、運 転保安設備等の計画的な整備 が必要である。	今後も引き続き輸送の安全性を確保してい くことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
9	人吉・球磨地域公共交 通活性化協議会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	くま川鉄道(株)	1. 相良藩願成寺・川村間 願成寺踏切踏切支障報知 装置新設改良工事 2. 相良藩願成寺・川村間1 K650付近外5箇所レール 交換他工事 3. 肥後西村・おかどめ幸 福間まくらぎ交換工事	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 地元の理解を得るために、年 間を通した中で現状報告等含 め、議会説明等積極的に取り 組んで理解を得ていきたい。	今後も引き続き輸送の安全性を確保してい くことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成 25 年 5 月 31 日  
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策 定に向けた方針)	評価結果	
10	肥薩おれんじ鉄道安全 輸送設備等整備協議 会	鉄道軌道安全輸送 設備等整備事業	肥薩おれんじ鉄道株	踏切保安設備(遮断機の 更新),連動装置(信号機 のLED化),落石等防護 設備(法面工),マクラギ (木製マクラギのPCマクラ ギ化),マクラギ(木製マク ラギの更新[同種更新]), レール(50kgレールの更 新[同種更新]),車両保存 費制動装置(電源装置の 取替),車両保存費車両整 備(インバタの取替),車 両保存費車両整備(モニ ター取替),車両保存費車 両整備(補機駆動軸整 備),車両保存費車両整備 (過給器整備)	A	A	本事業は当該年度(H24年度)で 完了 今後も引き続き安全性の向上 のため、施設の整備が必要で あるため、計画的な施設の整 備について、協議会で合意形 成を図りながら実施していき たい。	今後も引き続き輸送の安全性を確保して いくことが必要である。このため、鉄道事業者 の経営状況を考慮しつつ、鉄道施設全般に ついて、安全性の向上を図るべき事項に関 し、地域を挙げた計画的かつ重点的な取組 みを継続していくことが望ましい。	